

# 福島県立学校給食放射性物質検査業務委託仕様書

## 1 業務委託概要

- (1) 名 称 令和5年度福島県立学校給食放射性物質検査業務委託
- (2) 場 所 福島県立会津学鳳中学校、同ふくしま新世高等学校（本校舎）、同ふくしま新世高等学校（保原校舎）、同白河第二高等学校、同会津第二高等学校、同いわき翠の杜高等学校、同視覚支援学校、同聴覚支援学校、同大笹生支援学校、同だて支援学校、同郡山支援学校、同あぶくま支援学校、同西郷支援学校、同石川支援学校、同会津支援学校、同平支援学校、同いわき支援学校、同相馬支援学校及び同たむら支援学校  
（全19校）
- (3) 委託期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日
- (4) 目 的 福島県立学校の児童生徒及び教職員等に対し安全・安心な学校給食を提供するため、福島県立学校の給食について、放射性物質の検査業務を行う。

## 2 業務内容

本仕様書において発注者である福島県を甲、受託業者を乙とし、乙は下記の業務を行うこととする。

- (1) 学校給食食材の放射性物質検査業務に関すること。
- (2) モニタリング事業における検体の作成（調理後の給食の粉砕）及び検査機関への発送準備に関すること。
- (3) 検査用機器及び消耗品等の管理（清掃、洗浄等）に関すること。
- (4) 検査に係る諸帳票の記録及び報告に関すること。
- (5) 検査技術等の向上のための研修、練習等に関すること。
- (6) その他必要と認められる立会い、連絡調整及び報告等に関すること。

## 3 対象校

福島県立学校19校（別紙1のとおり）

## 4 検査の概要

- (1) 検査機器 対象校に設置している「EMF211型 ガンマ線スペクトロメータ」
- (2) 検査対象 学校給食で使用する主な食材について、1日2～4品目程度を各業務委託場所の福島県立学校長（以下「各校長」という。）が指示する。
- (3) 検査核種 セシウム134、セシウム137、カリウム40
- (4) そ の 他 検査については、手順書を順守し、不明な点は乙と各校長が協議する。

## 5 経費負担区分

甲及び各校長は以下に掲げる経費を負担するものとし、乙はそれ以外に係る経費を負担する。

- (1) 甲が負担する経費
  - ア 学校給食食材検査業務委託に要する経費
  - イ 検査用機器の校正に係る経費
- (2) 各校長が負担する経費
  - ア 試料代（検査対象品の購入費用）

- イ 施設・設備費及び各校長が定めた消耗品費  
(ただし、検査業務に当たって必要となるビニール袋、洗剤等の消耗品の費用は乙が負担する。)
- ウ 備品等の補修費用
- エ 光熱水費
- オ その他各校長が必要と認めるもの

## 6 業務内容の報告及び記録

- (1) 乙は、毎日の業務内容の報告及び記録について、各学校ごとに業務終了後速やかに提出し、各校長の承諾を受けること。

主な報告及び記録は下記のとおりとする（各学校により若干異なる）。

- ア 検査年月日・食材名・産地名
- イ 測定結果（Cs137・Cs134・K40）
- ウ その他各校長が指示する書類

- (2) 乙は、以下に掲げる事項について、各校長に報告等を行うこと。

様式1号 業務従事者（変更）配置報告書…各校長に対し当初又は変更時に報告

様式2号 業務完了報告書…各校長に対し前月分について毎月5日までに報告（ただし、業務完了日から翌月5日までの間に平日を含まない場合及び3月分報告については、様式に記載のとおりとする。）

## 7 業務従事者

- (1) 業務従事者は、放射性物質の検査のため、放射性物質及び検査機器の操作について必要な教育訓練を終了した者とする。

- (2) 乙は各校長に対し、学校ごとに業務従事者の氏名、経験年数等を示す書面（様式1号）を提出し、承諾を受けること。業務従事者を変更する時も同様とする。

- (3) 各校長は、業務従事者として不適当と認めた者については、乙と協議の上、交代させることができる。

- (4) 乙は、業務従事者の引継ぎ等に当たっては業務に支障のないようにすること。

- (5) 業務上非汚染区域への立入りや調理従事者との接触が想定される業務従事者は、保菌検査を月1回実施し、各校長に対して実施結果を速やかに報告するとともに、日々の健康状態を検査責任者に報告すること。（ふくしま新世高等学校（保原校舎）、郡山支援学校、あぶくま支援学校、石川支援学校、たむら支援学校）

## 8 勤務条件、勤務日数及びその他留意事項

- (1) 各学校の業務従事者の勤務条件等は、最低限として別紙2に示す人数の配置をするものとするが、期間中においては業務に支障が無いよう配置することはもちろん、事故が生じた場合は、休日等を問わず対応できる人員及び体制を確保するものとする。

- (2) 乙は、業務上必要に応じ各校長との協議により、勤務日数・時間の変更（早出・延長）及び休日出勤に応ずるものとし、この場合の勤務手当は、契約額に含むものとする。

9 相互協力

各校長及び乙は、学校給食食材の放射性物質検査業務に必要な事項について、相互に協力し適切な管理を行うものとする。

10 疑義

この仕様書に定めのない事項、又は、この仕様書に疑義が生じた場合には、必要に応じて、甲・乙が協議してこれを定めるものとする。

## 業務従事者（変更）配置報告書

令和 年 月 日

福島県立 校長

住 所  
商号又は名称  
代表者職・氏名

福島県立 学校給食放射性物質検査業務を履行するにあたり、下記の者を業務従事者として配置します。

### 記

氏 名	経 験 年 数 等	備 考

- 備考1 契約当初又は業務従事者を変更するときは、本様式により各校長に報告すること。  
2 契約当初に報告するときには表題の（変更）を抹消すること。  
3 変更の場合には業務に就く者と業務から離れる者両者を記入し、備考欄にその区別を記載すること。

また、短期間の従事者の変更の場合にはその期間も備考欄に記載すること。

備考欄記載例：①変更の場合

現任（ 月 日まで）

後任（ 月 日から）

②短期間の変更の場合

現任

後任（ 月 日から 月 日まで）

様式2号

## 業務完了報告書

令和 年 月 日

福島県立

校長

住 所  
商号又は名称  
代表者職・氏名

令和 年 月分の福島県立

学校給食放射性物質検査業務を完了しま

したので報告します。

備考1 乙は、本様式により、毎月5日までに前月分の業務完了報告を行うこと。

ただし、業務が完了した日から5日までの間に平日を含まない場合は次の平日とし、3月分の業務完了報告については、業務が完了した日又は3月31日のうちいずれか早い日までに業務完了報告を行うこと。

2 校長は、乙から業務完了報告を受けた時は、速やかに履行確認検査を行い所見を記入すること。

また、履行確認後、速やかに本報告書原本を教育長に送付すること。

## 対 象 校

学 校 名	住 所	電話番号
会津学鳳中学校	会津若松市一箕町大字八幡字八幡 1 - 1	0242-22-3491
ふくしま新世高等学校 (本校舎)	福島市渡利字七杜宮 1 7	024-523-4740
ふくしま新世高等学校 (保原校舎)	伊達市保原町字元木 2 3	024-575-3207
白河第二高等学校	白河市南登り町 5 4	0248-23-2319
会津第二高等学校	会津若松市徒之町 1 - 3 7	0242-27-3660
いわき翠の杜高等学校	いわき市内郷綴町板宮 2	0246-26-2596
視覚支援学校	福島市森合町 6 - 3 4	024-534-2574
聴覚支援学校	郡山市大槻町字西ノ宮西 3 2	024-951-2081
だて支援学校	伊達市保原町大泉字大館 7 8 番	024-572-6676
大笹生支援学校	福島市大笹生字組板山 1 8 2 - 2	024-558-8710
郡山支援学校	郡山市富田町字上ノ台 1	024-951-0247
あぶくま支援学校	郡山市中田町赤沼字杉並 1 3 9	024-956-1901
西郷支援学校	西郷村大字真船字芝原 1 5 1 - 1	0248-25-3110
石川支援学校	石川町字猫啼 3 6 0 - 3	0247-26-5544
会津支援学校	会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原 1 0 2	0242-32-2242
平支援学校	いわき市平上平窪字羽黒 4 0 - 4 5	0246-24-2501
いわき支援学校	いわき市平上神谷字石ノ町 1 3 - 1	0246-34-3806
相馬支援学校	南相馬市鹿島区寺内字鷺内 79	0244-67-1515
たむら支援学校	田村市船引町春山字道ノ原 5 1	0247-82-4114

## 検 査 件 数 等

学 校 名	総検査 日 数	1日当 件 数	人 数	勤 務 時 間	備 考
会津学鳳中学校	162日		1名	8:30~12:30	
ふくしま新世高等学校 (本校舎)	193日		1名	13:00~17:00	
ふくしま新世高等学校 (保原校舎)	191日		1名	14:00~18:00	要保菌検査
白河第二高等学校	195日		1名	13:00~17:00	
会津第二高等学校	192日		1名	12:00~16:00	
いわき翠の杜高等学校	188日		1名	13:00~17:00	
視覚支援学校	209日		1名	8:20~12:20	
聴覚支援学校	205日		1名	12:30~16:30	
大笹生支援学校	204日		1名	8:15~12:15	
だて支援学校	203日		1名	8:15~12:15	
郡山支援学校	203日		1名	8:25~12:25	要保菌検査
あぶくま支援学校	205日		1名	9:00~13:00	要保菌検査
西郷支援学校	206日		1名	9:15~12:15	
石川支援学校	210日		1名	8:30~12:30	要保菌検査
会津支援学校	205日		1名	8:15~12:15	
平支援学校	207日		1名	8:10~12:10	
いわき支援学校	206日		1名	8:15~12:15	
相馬支援学校	201日		1名	8:10~12:10	
たむら支援学校	199日		1名	8:15~12:15	要保菌検査

※保菌検査（5名分）に係る費用は、乙の負担となる。

※総検査日数には機器調整日及び清掃日を含む。

## 参考

### 標準的な検査手順

- 1 日常校正を行う。
- 2 検査責任者から検査用食材（以下「試料」という。）を受け取る。
- 3 給食調理工程を確認し、試料の検査手順を確認する。
- 4 試料は可食部分のみとし、0.5～0.6kg分を準備する。
- 5 検査容器に他の汚染物質がついていないか目視等で確認する。
- 6 試料をフードプロセッサー等で粉砕し、ビニール袋を敷いた検査容器（500ミリリットルのマリネリ容器）に隙間なく詰め、検査容器をさらにビニール袋に入れる。
- 7 試料の重量を量り、記録した上で検査機器にセットする。
- 8 検査機器を操作し、試料を検査する。
- 9 次の試料の下処理を行う。
- 10 検査終了後、検査結果を確認する。  
検出下限値を超える値が検出された場合は、速やかに検査責任者に連絡する。
- 11 当日の試料をすべて検査するまで4～10の手順を繰り返す。
- 12 試料の汚染・混入を防ぐために、扱う試料を変える毎に（片付けを除く）手袋・ビニール袋を替えること。
- 13 検査容器・フードプロセッサー等は使用の都度中性洗剤で十分に洗浄し、水分を拭き取る  
こと。
- 14 当日の試料の検査終了後、検査機器を点検し、汚染物が付着していないか等確認する。
- 15 試料の検査結果等のデータから公表資料等を作成し、検査責任者にデータを提出する。

（※検査手順の詳細及び上記によりがたい場合については各学校と打合せを行うこと。）

注1）検査責任者：各校長から指名を受けた職員

注2）検出下限値は2.5Bq/kgほか（各校長が定める）

注3）ND以外の場合は原則として再検査を実施

注4）上記で用いるビニール袋・手袋（ディスポーザル）・中性洗剤等の費用は乙が負担

注5）器具等については適宜洗浄等を行うこと